

第27回サマーキャンプ中学生の翼

少し積極的になれたような気がしました。この経験を生かしてこれからも頑張っていこうと思います。

2年3組 鈴木 千夏 「アメリカで得たもの」



鈴木さん(右)

私は、今回のアメリカでの研修に「日本との文化や歴史の違いを学ぶ、本場の英会話に挑戦する」という大きく2つの目標を持って参加しました。
1週間ホームステイをして、会話も行動も自分自身が成長できました。私は英語が得意ではありませんが、自分なりの工夫をして、質問したり、伝えたりという英会話力を高められました。そして異

国の地で、食べ物や環境などが違って大変なこともありましたが、貴重な体験に挑戦することができました。
この短期間の研修で学んだこと、手に入れた思い出は良いものになりました。そして今回お世話になった方々への感謝を忘れず、今後に生かしたいです。

団長報告 (教育課長) 佐藤 浩



団長(左)とグレンロック町長

令和になって初めてとなる「サマーキャンプ中学生の翼事業」は期間中の天候にも恵まれ、予定したすべての研修を修了することができました。
本年度の団員は総勢10人で、それぞれに参加の目的、研修を通じて体験・挑戦した

いこと、さらにはこの経験を将来どのように生かしたいかをしっかりと意識し、それらを踏まえて事前研修を行い研修に参加しました。研修の成果を高めるためには事前の準備が非常に重要です。

グレンロックでは町長はじめ多くの関係者の方々に歓迎会を開催していただき、団員もすぐ緊張がほぐれホームステイ先の家族と話をはじめていました。

グレンロックのホームステイ関係者は皆さん一様に親切で、自然体で子どもたちをアメリカの普通の家庭生活に受け入れてくれます。飾りのない日常生活の中でこそ多くを学ぶことができたと感じました。

救急隊、消防隊、警察署、役場での研修では職員の方から説明を受け、老人福祉施設訪問では入所者の方々と日本での遊びなどを通じ交流を深めました。

このような異文化に触れる体験を行うことにより、ますます国際化が進むことが予想される中で、たくましく生き

る人材育成に大きな役割を果たすことになると思います。あらためて多くの皆さんの

ご協力があったこそ、この事業が行われていることに感謝申し上げます。申し上げ団長の報告とします。

引率者報告

(教育課) 草野 隆行

私自身アメリカへ行くのは初めてでしたが、ホストファミリーをはじめ、グレンロックの皆さんがとても親切で不安や不向きは特に感じることなく過ごすことができました。これは団員も同じだったと思います。ホームステイ中にホームシックになったり、体調を崩す団員はなく、全員ですべての研修日程を完了することができました。団員がそれぞれの研修目標について成果を上げるサポートができたことをうれしく思います。

通信技術が発達している現代は、パソコンや携帯電話などで世界中の情報を得ることができ、実際現地に行

き、現地の人と話をしてみると分からないことも多くあります。ニュースでは取り上げられない普段の生活や文化については、一緒に生活してみないと分かりません。



草野指導員(右)

今回の研修で団員それぞれの感性で得た成果を、今後ますます加速する国際化社会で生かしてくれることを願っています。

